

会 議 録

会 議 の 名 称	熊谷市都市計画マスタープラン・立地適正化計画 第2回策定委員会																														
開 催 日 時	令和2年12月24日(木) 開会時刻 14時30分 閉会時刻 16時30分																														
開 催 場 所	商工会館大ホール																														
出 席 者	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 70%;">日本大学理工学部教授</td> <td>大沢 昌玄</td> </tr> <tr> <td>埼玉大学大学院理工学研究科准教授</td> <td>小嶋 文</td> </tr> <tr> <td>芝浦工業大学システム理工学部教授</td> <td>中村 仁</td> </tr> <tr> <td>熊谷市市議会副議長</td> <td>影山 琢也</td> </tr> <tr> <td>熊谷市市議会議員</td> <td>栗原 健昇</td> </tr> <tr> <td>熊谷市自治連合会副会長</td> <td>船田 重則</td> </tr> <tr> <td>熊谷商工会議所議員</td> <td>長沼 俊一</td> </tr> <tr> <td>くまがや市商工会経営指導員</td> <td>小川 恵司</td> </tr> <tr> <td>熊谷市農業委員会会長</td> <td>木村 進</td> </tr> <tr> <td>くまがや農業協同組合企画管理部総務課課長</td> <td>橋本 孝之</td> </tr> <tr> <td>熊谷市社会福祉協議会事務局長</td> <td>長島留美子</td> </tr> <tr> <td>国際十王交通株式会社運転車両部長</td> <td>山岸 晃</td> </tr> <tr> <td>熊谷県土整備事務所</td> <td>小山 淳</td> </tr> <tr> <td>公募</td> <td>寺井 直美</td> </tr> <tr> <td>公募</td> <td>高橋 大樹</td> </tr> </table>	日本大学理工学部教授	大沢 昌玄	埼玉大学大学院理工学研究科准教授	小嶋 文	芝浦工業大学システム理工学部教授	中村 仁	熊谷市市議会副議長	影山 琢也	熊谷市市議会議員	栗原 健昇	熊谷市自治連合会副会長	船田 重則	熊谷商工会議所議員	長沼 俊一	くまがや市商工会経営指導員	小川 恵司	熊谷市農業委員会会長	木村 進	くまがや農業協同組合企画管理部総務課課長	橋本 孝之	熊谷市社会福祉協議会事務局長	長島留美子	国際十王交通株式会社運転車両部長	山岸 晃	熊谷県土整備事務所	小山 淳	公募	寺井 直美	公募	高橋 大樹
日本大学理工学部教授	大沢 昌玄																														
埼玉大学大学院理工学研究科准教授	小嶋 文																														
芝浦工業大学システム理工学部教授	中村 仁																														
熊谷市市議会副議長	影山 琢也																														
熊谷市市議会議員	栗原 健昇																														
熊谷市自治連合会副会長	船田 重則																														
熊谷商工会議所議員	長沼 俊一																														
くまがや市商工会経営指導員	小川 恵司																														
熊谷市農業委員会会長	木村 進																														
くまがや農業協同組合企画管理部総務課課長	橋本 孝之																														
熊谷市社会福祉協議会事務局長	長島留美子																														
国際十王交通株式会社運転車両部長	山岸 晃																														
熊谷県土整備事務所	小山 淳																														
公募	寺井 直美																														
公募	高橋 大樹																														
会 議 の 議 題	<ul style="list-style-type: none"> (1) 市民ワークショップ等の結果から見る都市計画上の課題 (2) 将来都市像、都市づくりの目標・各計画の方針 (3) 将来の都市の骨格構造 (4) その他 																														
事 務 局	都市整備部都市計画課																														

発言者	発言の要旨
	<p data-bbox="448 349 1337 387">(1) 市民ワークショップ等の結果から見る都市計画上の課題</p> <p data-bbox="485 405 1358 434">～事務局より、資料P 1～3を説明し、その後質疑応答、意見交換～</p>
委員	<p data-bbox="432 499 1414 663">ワークショップやアンケート等について、ワークショップでは年配層の方、HPでは10, 20, 30代の方が多かったという話があった。発言された方の属性によって内容が左右されてしまうと思うので、参加された方の詳しい属性、性別や地域、家族構成などが分かれば教えていただきたい。</p>
事務局	<p data-bbox="432 723 1414 797">HPの意見募集については、年齢層と地域ごとは把握しているが、ワークショップについては、まとめたものがないので分からない。</p>
委員	<p data-bbox="432 857 1414 931">ワークショップやHP等で集めたものを「強み・弱み・分野別の課題」としているが、これはそもそもどんなテーマや課題を提示して得られた意見なのか？</p>
事務局	<p data-bbox="432 992 1414 1200">ワークショップは、熊谷市の魅力と課題について皆さんに考えていただき、その魅力と課題を踏まえた上で、将来的に大事にしてほしいところや、熊谷に新しく生まれてほしい魅力、特に解決してほしいことなどをテーマとして、意見を出し合ってもらった。HPの意見募集についても同様に、特に交通や環境などの分野ごとに、魅力や課題について自由に意見を書いていただいた。</p>
会長	<p data-bbox="432 1261 1414 1514">指摘をいただいたアンケート等の属性を整理しておいた方が良いと思う。今の熊谷は大きくなっているため、交通便利性の意見にしても、地域によっては意見が両極に分かれる場合もある。分野と地域はクロスして見ておかないと、地域別構想に入った際に間違った方向に進んでしまう可能性もある。資料集のような形でも良いので、どの地域・エリアの方がどのような要望を持っているのか整理してほしい。</p>
委員	<p data-bbox="432 1574 1414 1693">配布資料P1に現況がまとめてあるが、人口減少を簡単に許容しすぎている印象を受ける。人口減少に歯止めをかけるなど、挑戦をする気概がどこかに現れている方が良いと思う。</p> <p data-bbox="432 1709 1414 1783">公園については、埼玉県平均自体が全国的に低いと認識しており、これを上回ることが強みにあたるか疑問がある。</p> <p data-bbox="432 1798 1414 1962">持続可能な土地利用の規制誘導は、文字に書けば規制をかけ誘導するということだが、熊谷は、昔は東京からの物流業者にとって中継地点であり、立地が良い場所であったが規制が厳しすぎるため、あまり企業の拠点は増えていない。規制は確かに必要だが、時代背景に合わせて緩めることも必要である。</p>

発言者	発言の要旨
会長	市民意見結果や 20 年先を見据えた課題、市が感じている都市計画全体の課題などいくつかのアプローチが合わさったものが最後の課題になっており、解決策がマスタープランや立地適正化計画になる。足りない課題があれば出していきたい。
委員	工業・物流系の産業が誘致できていないことが課題だと感じる。例えば、熊谷バイパス沿道などは、将来を見据えることが必要である。
会長	人とモノ両方の動きを考える必要がある。人の動きよりモノの動きが活発化している中で、モノというものをどうやって運ぶのか。その時には交通や要所が重要視される。メリハリの付いた土地利用をしていかないと、土地利用としては好ましくない。モノの動きの質を考える必要がある。
委員	配布資料 P3 について、企業等の農業参入とあるが、ワークショップではどのような意見が出ていたのか。これまで農業に企業が参入しているが、採算が合わないと撤退してしまい、残された地域のダメージが大きい。地元農業者の法人化も進んできていることから、表現に地元農業者の法人化も入れてほしい。
事務局	市内には既存の農家が集まり法人化しているものが 40 ぐらいある。「企業等の農業参入」の下に「高齢者の就労機会の確保」という課題があるが、高齢者に対して半日や農繁期のみでの就労などの働く機会や生きがいなどを生み出せたら良いという意見もあった。企業の農業参入というよりも、法人化をして少しでも働く場所を見つけるということも含めた法人化に関する意見が出ていた。
委員	農業は仕事が多く、高齢者が働く場としても考えられると思うが、企業が参入した場合は、地元で根付き農業を続けていけるかわからないため、地元農家が集まり、法人化を目指すことが必要なのではないか。
委員	ワークショップやアンケートの整理ということで現況の問題点が出ているが、従来の熊谷市の都市計画マスタープラン等に関する意見や、合併したことに起因する市民意見はワークショップで見られたのか。
事務局	今回のワークショップは、現行都市計画マスタープランを踏まえた考えではなく、これからの熊谷市のまちづくりにどのような意見を持っているのか率直な考えを聞いている。

発言者	発言の要旨
委員	<p>現行都市計画マスタープランを今後、具体的にどのように考えていくのかという問いかけはあえて行っていないということか。次の都市計画マスタープランを策定する上で、現行の見直しをするのか、または現行とは全く違うものを考えるのか。</p>
事務局	<p>現行都市マス踏襲するものや、方針転換をするものなど中にはあると思うが、現行都市計画マスタープランを無視して考えることはない。</p>
委員	<p>20年後の姿として子どもたちのためにも緑の多いエリアにしていくという話があるが、教育的な視点での議論・質問は見られたのか。人口減少により、小中学校の統廃合が進められることが予想されるが、計画では小中一貫校などの教育方針にはふれるのか。</p>
事務局	<p>ワークショップでは教育をテーマにした議論は行わなかったが、計画を詰めていく中で教育委員会とも調整していく予定であり、今後調整する中で意見が出てくる可能性はある。</p>
委員	<p>税金を支払っていても自分の地域がなかなか変わらないという意見をよく聞く。人口減少が見込まれる中で都市をコンパクトにしていくと、エリアから外れた地域の人が出てきて、声が大きくなってくとも考えられる。そのあたりの議論もして行ってほしい。</p> <p>アンケートについて、まちづくりなどに関して興味関心が強い方の意見が多く集められていると考えられるが、それ以外の方の意見の集約も重要となるため、例えば小学校の保護者に向けてアンケートを実施するなど、意見の集約方法も考えていく必要があると思う。</p>
事務局	<p>ワークショップでは、意見を他の方にも伝えたいという意見があったため、当初は結果をHPに掲載する予定であったが、HPを閲覧できない方がいることを踏まえ、地区別に出た意見を回覧板で回していこうと考えている。</p>
委員	<p>公共交通に関する課題はコミュニティバスを指しているのか。ワークショップの中で、路線バスについての意見は出されていたのか。</p>
事務局	<p>路線バスについては、本数も多く利便性が高いという意見が見られた。しかし、路線バスの路線外を補完するコミュニティバスについては、もう少し集落内まで来てくれると助かるなどの意見が見られ、全体として都市間の移動は便利だ</p>

発言者	発言の要旨
委員	<p>が、市内における移動は不便に感じていることが伺える。</p> <p>ワークショップに参加したが、路線バスに関して、地域や時間帯によっては本数が少ないなどの意見や、バス停までの移動手段として市内循環バス「ゆうゆうバス」の運行を求める意見が一部見られた。また通勤通学時間帯にも運行することにより、市内循環バス「ゆうゆうバス」の利用者の増加にもつながると思う。</p>
会長	<p>公共交通の在り方を考える必要がある。</p>
委員	<p>配布資料 P3 について、課題の「利便性」や「楽しみ・愛着」に関する項目の中で、「…空き家・空き地等の積極的な活用」や「…空き家・空き地等の有効活用」など似た表現が複数あると感じるため、表現を統一し、再掲した箇所については再掲であることを記述することで理解しやすくなるのではないかと。</p>
事務局	<p>似た表現でも、アプローチ方法が異なる場合もあり現状ではわかりづらくなってしまっているため、いただいた意見を踏まえ精査していきたい。</p>
委員	<p>基本的に都市マス策定の上で、市民意見は重要であると考えているが、子育てに関する意見が見られないこと等から、属性などが偏っていると感じる。幅広く意見を集めるため、今後ワークショップを再度実施する予定はあるのか。また、市民意見は都市マス策定において、どの程度重要視されるのか。</p>
事務局	<p>参加者からは、直接意見を言えて良かったという意見はあったが、現時点ではワークショップを再度行う予定はない。</p>
会長	<p>子育て世代や働いている世代は、時間的にワークショップの参加が難しいことも考えられるため、もし再度ワークショップ等を実施することがあれば属性に合わせ参加しやすいように実施時間などを工夫する必要があるのではないかと。</p>
会長	<p>課題について、誰からどのように把握したものなのか明確化できていないことや、市民意見は何のために集めたのか等の説明が不十分であったため、混乱や誤解を生じさせてしまった。</p> <p>ワークショップ等の再実施についてもコロナ禍の現状では難しいが、方法がないわけではない。目的を明確にしても市民から回答が返ってこない場合もあり、筋道を立てる必要があると考えているため今後ご検討いただきたい。</p>

発言者	発言の要旨
	<p>(2) 将来都市像、都市づくりの目標・各計画の方針 (3) 将来の都市の骨格構造 ～事務局より、資料P 4～10を説明し、その後質疑応答、意見交換～</p>
委員	<p>大里地域の船木台は、バスなどの公共交通軸がなく拠点と離れているが、居住誘導区域とされている。軸を確保する方針はあるのか。 ソシオ流通センターのように今後市街化区域に編入しようとしている区域を、都市計画マスタープランに記載する予定はあるのか。 現行都市計画マスタープランから構想道路が変更されているが、その経緯を教えてください。</p>
事務局	<p>船木台は飛び地の市街化区域になっており、公共交通が脆弱な部分もあるが、東松山行きのバスもあるため、立地適正化計画では居住誘導区域に設定したい。 ソシオ流通センターについては、東部重点産業拠点として位置づけたいと考えている。 構想道路については、現状は総合振興計画をそのまま記載しているだけであるため、今後、担当課と調整していきたい。</p>
委員	<p>配布資料 P 7～P10 の将来都市構造図について、関連市町村がすべての交通網を関連付けているのに対し、熊谷市は、熊谷駅を起点とした放射状の構造になっているが意図はあるのか。点と線のつながりはあるが、各種の構想を面として考える際に主要地方道や県道が入っておらず、東西南北のつながりが弱い。</p>
会長	<p>非常に重要な意見であり、私も同意見である。例えば、籠原と江南の間は結ばなくて良いのかなど、合併した経緯もあるため意図があればお聞きしたい。</p>
委員	<p>都市計画マスタープランが市としての方針を定めるものである以上、横のつながりは重要な話であると思う。例えば、江南から籠原へ向かう際には公共交通機関が少ないため、駐車場を設置し、籠原駅までは車等で向かうなど、今後、市街地外から通勤すると考えた際に横方向のつながりは重要になる。また、これをどのように都市計画マスタープランに落とし込んでいくのかも考える必要がある。 東西の排水について、放射状で整備すると偏りが出てきてしまう可能性があるため、東西軸などを捉えなおす必要があるのではないか。</p>

発言者	発言の要旨
コンサルタント	<p>将来都市構造図について、公共交通軸の鉄道・バスは、現状において基幹的な交通として位置付けているものを記載しており、横方向の拠点間の連携についても今後検討する必要があると考えている。船木台については、立地適正化計画や居住誘導と合わせ、交通網の強化など、考えねばならない課題があると思う。今後の土地利用の在り方については、必要に応じて横方向の交通ネットワークなども検討していきたい。</p>
会長	<p>将来についての議論は今回の会議で結論が出ないと思うので、次回までに持ち越しても良いと思う。</p>
委員	<p>居住誘導区域内でも3m近くの浸水が想定されているため、1階部分に居住する場合は届出が必要であるなどの条件を設ける等、工夫が必要なのではないか。</p> <p>将来的に市街地を整備していく上で、市街化区域を広げゆとりを持たせるなどの考え方があるが、埼玉県都市計画区域マスタープランを踏まえ検討する予定はあるか。</p>
事務局	<p>居住誘導区域はまだ決定しているわけではなく、これから、浸水深によって判断していきたい。浸水想定は5段階に分けられているが、0.5m未満であれば床上まで浸水する危険は少ない。しかし、0.5m以上になると床上浸水の可能性もあり、3mでは1階部分の軒先まで浸水してしまう。これらを踏まえ、今後検討していきたい。</p> <p>都市計画区域マスタープランの見直しをしており、市街化区域の拡大等を要望しているが、決定権を持つ埼玉県は、人口が減少している中で市街化区域の拡大はできないとしており、例外としてソシオ流通センターについては産業系の拡大として調整している。しかし、全国的に人口減少が進行する中で、人口減少を理由に市街化拡大ができないのはおかしいのではないかということで、県に働きかけている。</p>
委員	<p>道路網の指摘については、私も同意見である。旧熊谷市では、鉄道以外の道路網は充実していないにも関わらず、交通の結節点を謳い美化してきたように思える。</p> <p>箱田周辺などには狭あい道路があり、解決するための計画は示されてこないが、家屋が建て替わるのを待っているのか。この課題を解消しなければ人口は増えず、住みやすい印象にはならない。総合振興計画に盛り込むものかもしれ</p>

発言者	発言の要旨
	<p>ないが、リンクさせて考えるべきだと思う。</p> <p>「医療」についていくつか記載が見られるが、どのような規模を指しているのか。県北最大都市だが、他市町村と比べて基幹病院が少なく、医療支援ロボットの導入も遅れている。「産業の振興・育成」とあるが、子育て世代や高齢者の安心を考えるのであれば「医療の育成」も掲げて良いのではないか。総合振興計画に委ねるだけでなく、担当課の考えも入れてほしい。</p>
事務局	<p>立地適正化計画では居住誘導区域内に、都市機能誘導区域を設定し、スーパーマーケットや大病院等の施設を誘致する。具体的には、都市機能誘導区域を交通結節点付近に設定することで、広域的に利用できるように大病院を誘致する等工夫していきたいと考えている。「医療」の規模としては、まちのクリニック等も想定して記載している。</p>
委員	<p>事前に配布された要綱では、会長が会を招集するはずだったが、今回の会議は市長になっている。会議が無効になる可能性も考えられるため今後は気を付けてほしい。</p>
事務局	<p>今回の会議の招集が市長であったことは誤りで、今後は会長から招集させていただく。</p>
会長	<p>誤りであったことを議事録に残し、本日の会を成立させたいと思うがいかがか。</p>
全員	<p>了解。</p>
副会長	<p>熊谷市防災ハザードマップのP8について、「…想定し得る最大規模(概ね1000年に一度)の大雨を想定した…」という記述もあるが、1000年に1度という低い確率のみを前提としてまちづくりを考えるべきではない。一般に公表する凡例として浸水深を5段階で表すにしても、検討段階では、国や県、河川事務所はさらに詳しいデータを持っているためヒアリングを行い、データを把握すべきであると思う。</p>
委員	<p>交通について、拠点間のつながりだけでなく、支線となるような地域内の公共交通も重要となるため、都市計画マスタープランでも表現できるようにしていただきたい。</p> <p>配布資料P9について、「利便性の高い市街地ゾーン」と「その他の市街地ゾーン(仮)」、「農住共生・樹林ゾーン(仮)」に分けられており、「…類型分けした</p>

発言者	発言の要旨
会長	<p>ゾーンを位置づけ、望むライフスタイルを選択可能な都市構造を形成します。」との記載があるが、コンパクトプラスネットワークの実現を考えると、居住誘導区域を選んでもらうという視点が弱いと感じる。各ゾーンの方針説明が不十分な箇所があるため今後検討していただきたい。</p> <p>議論できなかった意見については、都市計画課へ1月8日までに提出していただきたい。</p> <p>(4) その他</p> <p>～現行都市マスの評価結果の報告～</p>

－以上－